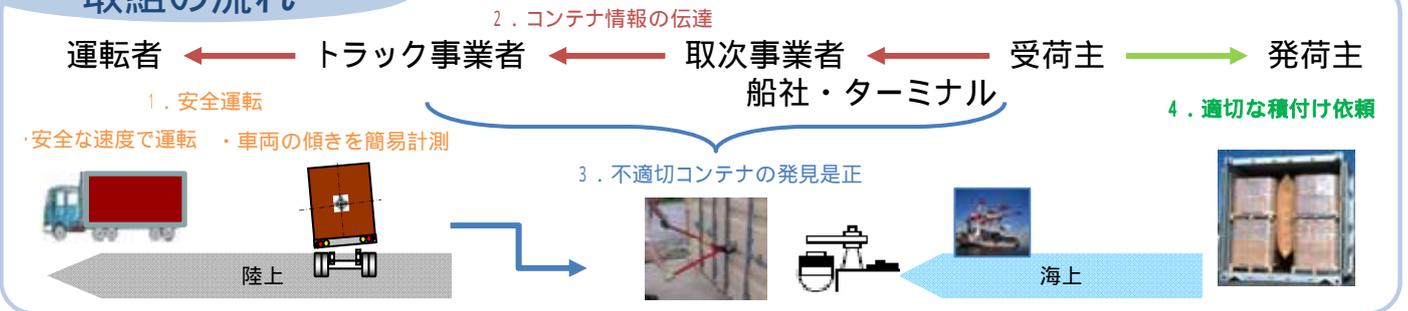


## 取組の流れ



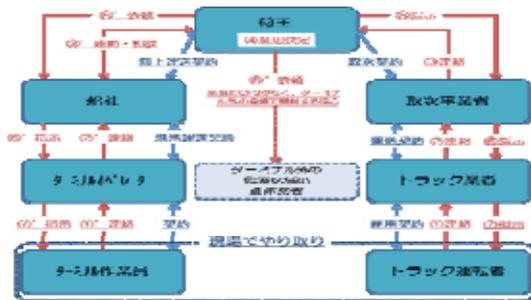
### 1. 運転者による安全運転 (トラック事業者、運転者)

コンテナの状態を目視確認、必要に応じて車両の傾きを簡易計測を実施  
緊締ロックを徹底し、安全な速度で運転

→ 常に安全な状態で運送

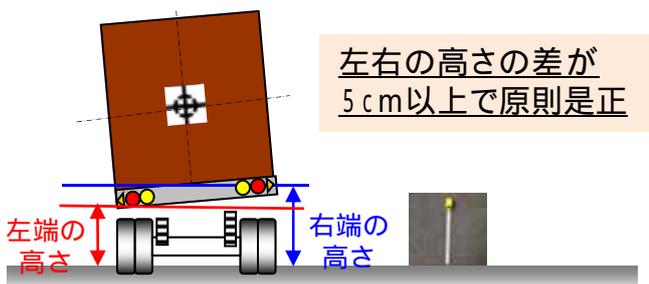
### 3. 不適切コンテナ<sup>2</sup>の発見及び是正 (全ての関係者)

簡易計測等により不適切コンテナを発見  
不適切コンテナが発見された場合、以下の  
とおり荷主まで連絡調整し、是正等を行う。



→ 不具合への対応を円滑化し、  
水際で不適切コンテナを排除

#### 1. メジャー等による簡易計測



### 2. コンテナ情報の伝達 (受荷主・取次事業者等)

トラック事業者への運送依頼書にコンテナ情報を日本語で転記。

B/L情報		国際貨物積荷書	
ISSU: 0000	SHIP: 0000	(00)コンテナターミナル	
CON: 0000	DATE: 0000	運送品目	
DEST: 0000	ORIG: 0000	船主: 0000 船名: 0000	
DATE: 0000	DATE: 0000	本船: 0000 船種: 0000	
DATE: 0000	DATE: 0000	コンテナ番号: 000000	
DATE: 0000	DATE: 0000	B/L No.: XXXXX	
DATE: 0000	DATE: 0000	不適合コンテナ番号: AAAA	
DATE: 0000	DATE: 0000	コンテナNo. 品名 積重 単位	
DATE: 0000	DATE: 0000	XXXXX	000 000 000
DATE: 0000	DATE: 0000	XXXXX	000 000 000
DATE: 0000	DATE: 0000	---	---
DATE: 0000	DATE: 0000	XXXXX	000 000 000

→ 中身が分からないまま運送することを防止

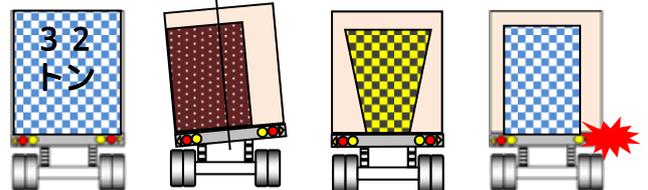
### 4. 適切な積付け(受荷主・発荷主)

発荷主はマニュアルに基づき積付。  
受荷主は発荷主に対し適切な積付け依頼。

→ 不適切コンテナの発生防止

2 不適切コンテナとは過積載、偏荷重、高重心、その他不具合をいう。

過積載 偏過重 高重心 損傷等



緊締装置の損傷、内容物の漏れなど、安全に輸送できない状態。